

郎太郎忠房ト改名ス、

〔日本書紀孝四〕二十六年二月壬寅立姪押媛爲皇后略 后生大日本根子彦太瓊天皇孝

〔古事記傳二十一〕大倭根日子賦斗邇命御名意根子は尊稱にて景行天皇の御子にも倭根子命と申すあり凡人にも記中に難波根子書紀神功卷に山背根子など云名見えたり天皇は大倭國所シロシメス知看を以て倭根子とは申奉るなり故此御號是を始として孝元開化の二御世又清寧

元明などの御名にも稱奉れり光仁御證號には皆是あり凡て御代御代の天皇の御通號となりて詔命などにもみな倭根子天皇と申し奉ることなり

〔古事記孝靈〕此天皇略 娶春日之千千速真若比賣生御子千千速比賣命

〔日本書紀孝四〕七年二月丁卯次妃河内青玉繫女埴安媛生武埴安彦命

〔古事記開化〕日子坐王略 娶春日建國勝戶賣之女名沙本之大關見戶賣生子沙本毘古王次袁邪本ホ王次沙本毘賣命

〔古事記垂仁〕此天皇略 娶其沼羽田之入日賣命之弟阿邪美能伊理毘賣命此女王生御子 阿邪美都比賣命略

〔日本書紀二十三〕二年正月戊寅娶吉備國蚊屋采女生蚊屋皇子

〔大鏡三〕太政大臣實賴たゞとしの君子實賴の御おのこ、御おほちをの、みやのおとゞ實賴 御子にし給ひてさねすけとつけたてまつり給ひていみじうかなしうし給ひきこのおとゞの御名の文字なりさねもじはといふほどもあまりざえがりたりや

〔平家物語八〕をだまきの事

たとへば昔ぶんごの國あるかた山里に女有きある人のひとり娘おつともなかりけるがもどへをそこよなくかよふ程に年月もへだれば身もたゞならずなりぬ略 程なくさんを去